

5月12日は「看護の日」

看護の心をみんなの心に

「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。

こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、1990年に近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ「看護の日」が制定されました。

びわこ学園センター野洲もこの思いを受けて、細々とではありますが多くの方が通る廊下にて掲示物で看護の日をアピールしました。利用者さん、ご家族、実習生やボランティアさん、職員、多くの方が足を止めてくれました。

看護部のスローガンでもある「よりそい・きづき・かんがえる」そんな看護の心がもっと広がればいいなあと思います。



看護部スローガン

「よりそい・きづき・かんがえる」

シンボルの花：ねじ花

「看護の日」「かんどちゃん」の紹介

各委員会活動の紹介

「教えて看護師さん みんなの学生時代！」
ユニフォームはワンピース？ズボン？戴帽式はあった？など参加型コーナーも設置

ナイチンゲールの名言「犠牲なき献身こそ真の奉仕」から「ウェルビーイング」を考えてみよう！

さっし、看護部さんは聞かす・・・
『適切で質の高い看護を実践するために、看護師自身のウェルビーイングの向上』が求められています。
自己犠牲を払うと、精神的、肉体的にも負担が大きくなり、結果的に周囲の人々にも良い影響を与えることが難しくなります。
自分を大切にしながら働きましょう!!
とナイチンゲールさんも言っているのです。

看護部長の学生時代の写真も掲示！



5.12



Nursing Day